

globalforce.link 通信 [2016.1.5.][illegible]

グローバルフォース・ドット・リンク通信

(第 0015 号)

2016.1.5.

.....

- ・globalforce(高度外国人)に関連する人財活用のエッセンス、採用、教育
- ・本音トーク、法令関連にいたるまで、さまざまな情報を発信します。

.....

皆さま、お元気様でございます。

異文化コミュニケーション研究所(R)所長の島崎です。

☆ 新年明けましておめでとうございます。 ☆

今年も皆様にとりまして、最高の年となりますことを心より祈念しております。

毎年、お正月は箱根駅伝をテレビで観戦しますが、毎年、区間賞新記録という

文字を目にします。つまり、毎年、毎年、昨年よりも良い結果を出していると

ということです。

これって、凄いことですよね。進化を勝ち取っている。

inovation(革新) と evolution(進化)

良い一年を過ごしましょう！ (^ ^)

■トピックス■

1. 今週のフォーカス「”forgive”と”forget”」
2. 勉強会・セミナー等のご案内
3. 摩訶珍(まかちん)編集後記

| 1 | 今週のフォーカス「"forgive"と"forget"」

U

新年を迎えるにあたり、皆さんに温かい心をお伝えしたいと思います。

それは、forgive(許す) と forget(忘れる)という言葉です。

去年は、ISIS の出現で、世界中が臨戦態勢になりました。パリであったテロの惨劇は、私たちに深い傷を負わせました。そして、その報復として、リモートコントロールされた高度な武器の力で、画面の中で爆撃が行われています。あの爆撃で誰が傷ついているのか…。

なぜ平和な先進国の若者が志願して自爆テロに走るのか？

ニュースで言われているように、現代社会では、大きな歪(ひずみ)が生まれているのでしょう。

格差、差別、不平不満。

まず、差別をなくすこと。これは簡単なことです。その気になれば、今日からでもできるはずです。

そして、富める者が、貧しい者に施しをするという社会構造を変える。だって、この構造では富める者がいない限り、貧しい者が生活できないのですから格差前提の政策だからです。

貧しい人たちを救うにはどうしたらよいのか？それは高度な教育がなくても、コツコツと心を込めて仕事をしていれば、徐々に豊かになっていく熟練の世界を社会が評価するようになることです。

たとえば、化学肥料に頼らない農地から作られた食物は、体に良く、土地も疲弊しません。しかし、手間が掛かる。そのためには、多くの人たちが必要です。食べ物に感謝することで、作ってくれる人たちに感謝する。そんな社会であれば、きっと何とかできるでしょう。

これも、難しいことだとは思っていません。

本当に難しいのは、奢りきった人たちの、怒りにまかせた報復を止めることです。報復の連鎖を止めることが重要です。

forgive(許す) と forget(忘れる)には、私達一人一人が、現代の問題を解決するための大切な、重要な必要な要素を持っていると思うのです。

「許す」とは『与えるため(与えること)“for give”』であり、

「忘れる」とは『得るため(得ること)“for get”』なのです。

許すことで、与えられ、忘れることで、得られる....

この言葉を 2016 年の初頭の言葉として皆様とシェアしたいと思います。

┌

| 2 | 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

└

1 月 21 日(木)の勉強会にゲストとして株式会社 NTT データの人事部 兼 グローバル事業本部グローバルHR担当部長の田中 一郎さまにご登壇頂きます。

タイトル:「多国籍体制の組織づくり～M&A で獲得した海外人材の活用」

まだ若干席が空いておりますので、開運大吉、お申込みがまだの方は、真新しい手帳にメモの上、早速お申し込みください。

それから、型破りの「30分間で外国人とコミュニケーションができる”英語もどき”」は、私、異文化コミュニケーション研究所所長の島崎が担当致します。英語は単なるコミュニケーションのツールです。楽しんで下さい。

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)